

# 【記入例・地域活動支援事業】

第1号様式（第3条関係）

## 平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付申請書

必ず、障体協会長が定める期日（補助金内示通知書で連絡）までに申請してください（この期日後に申請すると、補助金が交付されない場合がありますので、注意してください。）。  
→ ××第 100 号  
平成〇〇年 5月10日

大分県障がい者体育協会  
会長 ○○ ○○ 殿

住所・団体名・代表者職氏名をきちんと記入。  
代表者印も忘れないように。

内示額を記入してください（基本的には、120,000円となります。）。  
→ (申請者住所) 大分市～～  
(申請者名) 大分県〇〇〇協会  
会長 ◊ ◊ ◊ ◊印

平成〇〇年度において、下記のとおり障がい者スポーツ団体地域活動支援事業を実施したいので、補助金 80,000円を交付されるよう、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第3条の規定により、関係書類を添えて申請します。

### 記

1 事業完了予定年月日 平成〇〇年 9月15日

2 団体の年間目標（「競技力向上」を目的としたもの：数値・指標等）

練習会・県外遠征を通じて、選手の技術やモチベーション向上を図り、選手全員が自己記録の更新を目指す。

3 添付書類

- (1) 事業計画書（第2号様式）
- (2) 活動計画表（第3号様式）
- (3) 収支予算書抄本
- (4) その他会長が必要と認める書類

団体の年間目標を数値・指標等により具体的に記入。  
第2号・第3号様式との関連にも注意のこと。

収支予算書抄本については、貴団体の中できちんと予算化されていることを確認するために添付が必要です。予算書抄本にも日付・団体名・代表者職氏名・代表者印を忘れないように（実績報告書に添付する「収支決算（見込）書抄本も同様）。

【記入例・地域活動支援事業】

第2号様式（第3条関係）

貴団体のほかに、共催者がある場合は、共催者名も記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

団体の「年間目標」を達成する関連事業の概要			
事業名	夏季合同練習会		
実施日時	平成〇〇年8月10日（土）～8月11日（日）		
実施場所	〇〇市△△△グラウンド		
主催者・共催者	主催者：大分県〇〇〇協会 共催者：大分県▲▲▲協議会		
参加者数 (選手・役員別)	参加者数 50人 (選手：30人 ・ 役員：20人)		
所要経費 (単位 千円)	費目	金額	積算内訳
	(収入)		
選手・役員別に参加予定者数を必ず記入してください。	協会補助金	57	
	寄付金	10	
	自己負担	35	
	計	102	
収入と支出のそれぞれの計が一致するように。	(支出)		
	指導者謝礼	50	@5,000円×5人×2日=50,000円
	指導者旅費	15	@1,500円×5人×2日=15,000円
	飲料費	7	@100円×35人×2日=7,000円
	会場使用料	20	@10,000円×2日=20,000円
競技用具代	10	ボール @2,000円×5個=10,000円	
計	102		

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第2号様式（第3条関係）

主催者のほかに、共催者がある場合は、共催者名も記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

団体の「年間目標」を達成する関連事業の概要			
事業名	県外遠征（練習試合）		
実施日時	平成〇〇年9月14日（土）～9月15日（日）		
実施場所	……県……市総合グラウンド		
主催者・共催者	主催者： 大分県〇〇〇協会 ……県〇〇〇協会		
参加者数 （選手・役員別）	参加者数 25人 （選手：15人 ・ 役員：10人）		
所要経費 （単位 千円）	費目	金額	積算内訳
	（収入） 協会補助金 寄付金 自己負担	23 10 30	
計		63	
	（支出） 飲料費 会場使用料 バス借上料	3 @100円×15人×2日=3,000円 10 @5,000円×2日=10,000円 50 @25,000円×2日=50,000円	
計		63	

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第3号様式（第3条関係）

事業ごとに、それぞれ作成してください。第2号様式と同様です。

見込経費の合計は、第2号様式の所要経費の支出欄の合計と同額になります。

できるだけ、具体的に記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

「団体の年間目標」を達成する関連事業の実施スケジュール

	大会名・練習（合宿・遠征）予定	実施場所	見込経費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月	夏季合同練習会	〇〇市 △△グラウンド	102,000円
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第3号様式（第3条関係）

事業ごとに、それぞれ作成してください。第2号様式と同様です。

見込経費の合計は、第2号様式の所要経費の支出欄の合計と同額になります。

できるだけ、具体的に記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

「団体の年間目標」を達成する関連事業の実施スケジュール

	大会名・練習（合宿・遠征）予定	実施場所	見込経費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月	県外遠征（練習試合）	……県……市 総合グラウンド	63,000円
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第4号様式（第4条関係）

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業変更承認申請書

必ず、事業変更前に申請し、会長の承認を受けてください（＝変更後の事業は、会長の承認を受けた後に実施してください。）。

平成〇〇年 ~~〇〇~~ 第 150 号  
7月15日

大分県障がい者体育協会  
会長 ○○ ○○ 殿

住所・団体名・代表者職氏名をきちんと記入。代表者印も忘れないように（交付申請書と同様）。

交付決定通知書に記載されている日付・文書番号を記入してください。

（申請者住所） 大分市～～  
（申請者名） 大分県〇〇〇協会  
会長 ◇ ◇ ◇ ◇印

平成〇〇年5月20日付け大障体協第200号で交付決定通知のあった平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業について、下記のとおり変更したいので、承認されるよう、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第4条第1項第2号の規定により申請します。

できるだけ詳細に記入してください。

記

1 変更の理由

9月に予定していた県外遠征が、相手チームの都合により中止となったことから、県外遠征予定日に秋季合同練習会を実施することとしたため。

（備考）

以下、第1号様式の記の2以下に準じて作成するものとし、変更前と変更後が比較対照できるよう、変更部分を2段書きにし、変更前をカッコ書きで上段に記載すること。

変更内容によって、添付書類（2段書きする書類）が異なります。注意してください。

【記入例・地域活動支援事業】

第2号様式（第3条関係）

変更申請書に添付する計画書(変更内容を明示)の記入例です。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

団体の「年間目標」を達成する関連事業の概要			
事業名	<del>(県外遠征(練習試合))</del> 秋季合同練習会		
実施日時	平成〇〇年9月21日(土)～9月22日(日)		
実施場所	<del>(…県…市総合グラウンド)</del> ー市△△△グラウンド		
主催者・共催者	[ 主催者: 大分県〇〇〇協会 …県〇〇〇協会 主催者: 大分県〇〇〇協会 ]		
参加者数 (選手・役員別)	参加者数 25人 (選手: 15人 役員: 10人)		
所要経費 (単位: 千円)	費目	金額	積算内訳
	(収入)		
	協会補助金	23	変更する場合は、変更前をカッコ書きで上段に記入してください(以下、変更が生じる項目について、同様です。)。
	寄付金	(10)	
	自己負担	11	
		(30)	
	計	55	
		(63)	
		89	
	(支出)		
	指導者謝礼	50	@5,000円×5人×2日=50,000円
	指導者旅費	15	@1,500円×5人×2日=15,000円
	飲料費	(3)	@100円×15人×2日=3,000円
	会場使用料	4	@100円×20人×2日=4,000円
	(バス借上料)	(10)	@5,000円×2日=10,000円
		20	@10,000円×2日=20,000円
		(50)	@25,000円×2日=50,000円
	計	(63)	
		89	

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第3号様式（第3条関係）

変更申請書に添付する計画書(変更内容を明示)の記入例です。

変更する場合は、変更前をカッコ書きで上段に記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業計画書

「団体の年間目標」を達成する関連事業の実施スケジュール			
	大会名・練習（合宿・遠征）予定	実施場所	見込経費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月	( <del>県外遠征（練習試合）</del> ) 秋季合同練習会	( <del>……県……市総合</del> グラウンド) ——市 △△△グラウンド	( <del>63,000円</del> ) 89,000円
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。



平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付決定通知書

大障体協 第 200 号  
平成〇〇年 5月20日

大分県〇〇〇協会  
会長 〇 〇 〇 〇 殿

この日付・番号に注意。  
交付請求書、実績報告書、変更交  
付申請書等に記入する必要があります。

交付決定額・補助条件を十分確  
認してください。  
特に補助条件は、交付決定後の  
対応等で必要なことも書かれて  
います。

大分県障がい者体育協会  
会長 〇 〇 〇 〇 印

平成〇〇年 5月10日付け××第 100 号で交付申請のあった平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金については、下記のとおり交付することに決定したので、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第5条の規定により通知します。

記

1 補助金の交付決定額 金 80,000 円

2 補助条件

- (1) 次の要件を満たすこと。
  - ア 練習会及び県外遠征等は、競技力向上に資すると判断できる内容であること。
  - イ 活動年度当初に、障がい者スポーツ団体として掲げる「活動目標」を設定し、目標に即した活動内容であること。
  - ウ 補助については、原則として年1回とする。
- (2) 補助事業の内容又は経費の配分の変更（会長が定める軽微な変更を除く。）をする場合は、補助事業変更承認申請書（第4号様式）を会長に報告し、その承認を受けること。
- (3) 補助事業を中止し、又は廃止する場合は、会長の承認を受けること。
- (4) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合は、速やかに会長に報告し、その指示を受けること。
- (5) この補助金に係る収入及び支出を明らかにした預金通帳、金銭（預金）出納簿等の帳簿及び契約書、領収書等の証拠書類は、補助事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間整備保管すること。
- (6) 補助事業によって取得し、又は効用の増加した財産（以下「財産」という。）は、会長の承認を受けずに、補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸付け又は担保の用に供してはならないこと。ただし、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号。以下「大蔵省令」という。）に定められている財産については、大蔵省令に定められている耐用年数に相当する期間を経過している場合はこの限りではないこと。
- (7) 財産は、財産管理台帳及びその他関係書類を整備保管し、補助事業の完了後においても善良な管理者の注意をもって管理するとともに、補助金の交付目的に従って、その効率的な運用を図ること。
- (8) 財産のうち、1件当たりの取得価格が50万円以上のものを処分しようとするときは、あらかじめ会長の承認を受けること。ただし、大蔵省令に定められている財産については、大蔵省令に定められている耐用年数に相当する期間を経過している場合はこの限りではないこと。
- (9) 会長の承認を受けて財産を処分したことにより収入があった場合は、その収入の全部又は一部を協会に納付させることがあること。
- (10) 会長の定める軽微な変更の範囲は、補助金の額に変更を及ぼさない変更で、次のとおりとする。
  - ア 補助金の交付目的に反しない事業内容の変更
  - イ 補助対象経費の20パーセント以内の増減

【 記 入 例 ・ 地域活動支援事業】

第6号様式（第8条関係）

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付請求書

補助金の支払は、精算払（＝事業完了後、事業の実施状況を確認した後の支払）が原則ですが、障体協会長が必要と認める場合は、概算払（＝事業開始前の支払）を行うこともできます。どちらによるかは、障体協事務局と相談・確認してください。なお、精算払の場合は、会長あて実績報告→会長からの額の確定通知後の請求になります。

××第 200 号  
平成〇〇年 7月25日

大分県障がい者体育協会  
会 長 〇〇 〇〇 殿

住所・団体名・代表者職氏名をきちんと記入。代表者印も忘れないように（交付申請書と同様）。

交付決定通知書に記載されている日付・文書番号を記入してください。

（請求者住所） 大分市～～  
（請求者名） 大分県〇〇〇協会  
会長 ◇ ◇ ◇ ◇印

平成〇〇年5月20日付け大障体協第200号で交付決定通知のあった平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金を精算払（概算払）の方法により交付されるよう、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第8条の規定により請求します。

金額に誤りがないように記入してください。なお、初めての請求の場合は、補助金交付決定額・今回請求額は80,000円、既受領額・残額は0円になります。

精算払か、概算払のどちらかを選択の上、選択しなかった方を見え消してください。

記

補助金交付決定額	既受領額	今回請求額	残 額	事業完了 (予定)年月日	備 考
円 80,000	円 0	円 80,000	円 0	平成〇〇年9月18日	

精算払であれば、「(予定)」を見え消してください(事業完了年月日を記入することになります。)

【記入例・地域活動支援事業】

第7号様式（第9条関係）

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金実績報告書

「事業完了若しくは廃止の承認を受けた日から起算して30日を経過した日」又は「補助金の交付決定のあった日の属する年度の翌年度の4月10日」のいずれか早い期日までに提出してください。

平成〇〇年 第 250 号  
9月30日

大分県障がい者体育協会  
会 長 〇〇 〇〇

殿

住所・団体名・代表者職氏名をきちんと記入。代表者印も忘れないように（交付申請書と同様）。

交付決定通知書に記載されている日付・文書番号を記入してください。

(報告者住所) 大分市~~  
(報告者名) 大分県〇〇〇協会  
会長

平成〇〇年5月10日付け大障体協第200号で交付決定通知のあった平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業について、下記のとおり実施したので、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第9条の規定により、その実績を関係書類を添えて報告します。

記 第1号様式に記入した年間目標を再掲

- 1 事業完了年月日 平成〇〇年 9月22日
- 2 団体の年間目標
- 3 上記2に対する実績（達成率や達成状況等を記入すること。）及び評価

練習会・県外遠征を通じて、選手の技術やモチベーション向上を図り、選手全員が自己記録の更新を目指す。

当初に予定していた県外遠征（練習試合）は中止となったものの、夏季・秋季の合同練習会を通じて、競技力の向上が図れた。  
また、選手全員が自己記録を更新することができ、全国大会でメダルを獲得する選手も出るなどの成果が得られた。

- 4 添付書類  
(1) 事業実績書（第8号様式）  
(2) 活動実績表（第9号様式）  
(3) 収支決算（見込）書抄本  
(4) その他会長が必要と認める書類（領収書の写し）

団体の年間目標に対する実績を達成率や達成状況等により、できるだけ詳細に記入してください。

「会長が必要と認める書類」として、貴団体が支払をしたものについての領収書の写しが必要です。領収書の写しを全て添付してください。

【記入例・地域活動支援事業】

第8号様式（第9条関係）

貴団体のほかに、共催者がある場合は、共催者名も記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業実績書

団体の「年間目標」を達成する関連事業の実績				
事業名	夏季合同練習会			
実施日時	平成〇〇年8月10日（土）～8月11日（日）			
実施場所	〇〇市△△△グラウンド			
主催者・共催者	主催者：大分県〇〇〇協会 共催者：大分県▲▲▲協議会			
参加者数 (選手・役員別)	参加者数 46人 (選手：28人 ・ 役員：18人)			
所要経費 (単位：円)	費目	金額	内訳	
	(収入)			
選手・役員別に参加者数を必ず記入してください。	協会補助金	57,000	大分県障がい者体育協会より	
	寄付金	10,000		
	自己負担	34,000		
	計	101,000		
支出経費について、その領収書を添付してください(領収書の金額と一致する金額を記入すること。)	(支出)		事業ごとに、それぞれ作成してください(要注意)。第9号様式も同様です。	
	指導者謝礼	50,000		@5,000円×5人×2日=50,000円
	指導者旅費	15,000		@1,500円×5人×2日=15,000円
	飲料費	6,600		@100円×33人×2日=6,600円
	会場使用料	20,000		@10,000円×2日=20,000円
	競技用具代	9,400		ボール @1,880円×5個=9,400円
収入と支出のそれぞれの計が一致するように。	計	101,000		

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第8号様式（第9条関係）

主催者のほかに、共催者がある場合は、共催者名も記入してください。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業実績書

団体の「年間目標」を達成する関連事業の実績				
事業名	秋季合同練習会			
実施日時	平成〇〇年9月21日（土）～9月22日（日）			
実施場所	〇〇市△△△グラウンド			
主催者・共催者	主催者：大分県〇〇〇協会			
参加者数 （選手・役員別）	参加者数 22人 （選手：14人・役員：8人）			
所要経費 （単位：円）	費目	金額	内訳	
	(収入)			
選手・役員別に参加者数を必ず記入してください。	協会補助金	23,000	大分県障がい者体育協会より	
	寄付金	18,600		
	自己負担	34,000		
	計	75,600		
支出経費について、その領収書を添付してください（領収書の金額と一致する金額を記入すること。）。	(支出)		事業ごとに、それぞれ作成してください（要注意）。第9号様式も同様です。	
	指導者謝礼	40,000		@5,000円×4人×2日=40,000円
	指導者旅費	12,000		@1,500円×4人×2日=12,000円
	飲料費	3,600		@100円×18人×2日=3,600円
	会場使用料	20,000		@10,000円×2日=20,000円
計	75,600			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【 記 入 例 ・ 地域活動支援事業】

第9号様式（第9条関係）

事業ごとに、それぞれ作成してください。第8号様式と同様です。

経費の合計は、第8号様式の所要経費の支出欄の合計と同額になります。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業活動実績表

「団体の年間目標」を達成する関連事業の実績			
	大会名・練習（合宿・遠征）	実施場所	経 費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月	夏季合同練習会	〇〇市 △△グラウンド	101,000円
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第9号様式（第9条関係）

事業ごとに、それぞれ作成してください。第8号様式と同様です。

経費の合計は、第8号様式の所要経費の支出欄の合計と同額になります。

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業活動実績表

「団体の年間目標」を達成する関連事業の実績			
	大会名・練習（合宿・遠征）	実施場所	経費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月	秋季合同練習会	〇〇市 △△△グラウンド	75,600円
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

※ 事業が複数ある場合は、本概要書を複数提出のこと。

【記入例・地域活動支援事業】

第10号様式（第10条関係）

平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金の額の確定通知書

大障体協第 300 号  
平成〇〇年 10月 11日

大分県〇〇〇協会  
会長 ◇ ◇ ◇ ◇ 殿

大分県障がい者体育協会  
会長 ○○ ○○ 印

平成〇〇年 9月 30日付け ××第 250号で提出のあった平成〇〇年度障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金実績報告書に基づき、平成〇〇年 5月 20日付け大障体協第 200号による交付決定通知に係る補助金の額 80,000円については、金 80,000円に確定したので、障がい者スポーツ団体地域活動支援事業費補助金交付要綱第10条の規定により通知します。

この補助金に係る収入及び支出を明らかにした預金通帳、金銭(預金)出納簿等の帳簿及び契約書、領収書等の証拠書類は、事業終了年度の翌年度から起算して5年間整備保管してください。